

ワシントンで働く女性の会(J-WIP)第20回 活動報告



2022年9月15日、ワシントンDCで働く女性を応援するJ-WIPによる対面式イベントを3年ぶりに開催し、コロナ禍で一時中断していたものの、過去から活動参加して下っていた方から新たに赴任された方まで24人が参加して下さいました。第20回 Speaker Eventとしてお招きしたのは、北九州市立大学のアン・クレスニー先生。バージニア州 Wytheville のご出身で今回は3年ぶりの米国各地での講演活動に加え、里帰りのタイミングで本イベントが実現しました。

アン先生からは「ここが違う！日米文化・習慣～コロナ禍で見えてきたもの～ Looking at Cultural Differences Through the Lens of COVID」をテーマに70分間、熱弁を奮われました。先生のご専門は「言語学」、日本語の表現の曖昧さ、和製英語は英語圏では通じないけれども、日本人が覚えやすく、わかりやすい魅力溢れる“日本語”であること、正しい日本語、若者言葉も貴重なコミュニケーションツールなど、私たちの日常生活にも役立つヒントをたくさんいただきました。先生の鋭い視点から私たちも目から鱗、時代と文化で派生する和製英語をクイズ形式でどんどん出され、会場は大きな笑いに包まれました。

一方で、2020年3月に始まるコロナ禍では、自粛に始まり、マスク・ワクチン・水際対策の観点で、集団主義の日本と個人主義のアメリカでの受け止めが大きく異なること、特に水際対策では、日本において“外国籍”であることがどれだけ留学生、永住権を持つ人たちを厳しい状況に追い込んだのか、具体的なエピソードを交えて説明して下さいました。現在もマスク生活を強いられる日本、特に子供たちの成長機会を奪っていると厳しいご指摘もいただきました。

先生のお話を通して、相手の立場を受け止め、尊重・理解すること、積極的に多様な人たちと関わることの大切さ、文化を育て、日本人として誇りを持つこと、の重要性を再認識させられました。

ご講演の後のネットワーキングも大いに盛り上がり、ワシントン DC で働く者同士の輪の広がりに繋がったのではないかと思います。

3 人のお嬢さまの母であり、日本在住 22 年、日本と日本語を愛して止まないアン先生。先生のますますのご活躍を太平洋を越えて応援し続けると共に J-WIP 活動もさらに展開してまいりたいと思います。

※J-WIP(Japanese Women in the Professions in Washington DC)

ワシントン地区で働く日本女性へのキャリア育成支援活動、2016 年 1 月、ワシントン
日本商工
援してい
会として支
る、

